

～住民のみなさまへ～

全員参加型の 資源循環地区を目指して

～印西地区ごみ処理基本計画策定のお知らせ～

テーマ: 持続可能な社会を目指して



印西市・白井市・本埜村・印旛村・栄町
印西地区環境整備事業組合

ごみ処理基本計画を策定しました

私たちの暮らしの中で毎日出される“ごみ”は、生活環境の保全と公衆衛生の向上のため、分別収集と焼却・破砕などにより安全かつ安定的に処理されていますが、一方で、ごみ質の変化と施設能力、施設の老朽化、コストの削減、処理が環境に与える影響、不法投棄への対応及びごみ処理全体の効率化などに課題が残されています。また、千葉ニュータウン計画を中心とした開発・発展に伴う人口増加が予想され、ごみ排出量も今後増加することが見込まれます。そのため、さらなる減量とリサイクルの推進が重要となっています。

今回、印西地区の5市町村では、次の世代に良好な環境を引き継いでいくため、可能な限り“ごみ”の発生を抑制し、再利用出来るものは利用し、さらに処理する過程で回収出来るエネルギーは有効に利用していく「循環型社会の形成」を基本理念とした、「印西地区ごみ処理基本計画※」を策定しました。「全員参加型の資源循環地区」を実現するためには、住民一人一人がこれまでのライフスタイルを見直す必要があります。

全員参加型の資源循環地区



住民は

出来ることから始めよう、ごみを減らしてリサイクル！
日々の生活から未来につながる資源循環地区を目指します。

事業者は

事業活動に伴うごみの減量・リサイクルは事業者の責務。排出者責任の再認識と資源循環を意識した事業展開により、未来につながる資源循環地区を目指します。

行政は

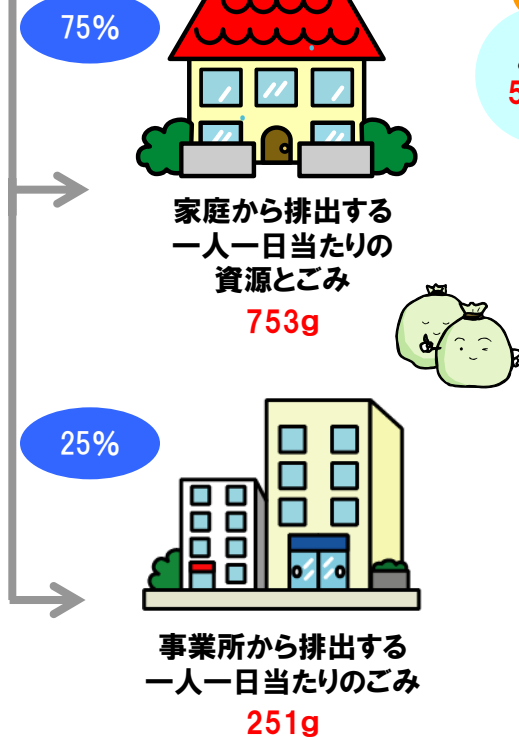
創意工夫をこらして、住民・事業者・行政をリサイクルの環でつなぎ、環境への配慮と事業効率の向上により、未来につながる全員参加型の資源循環地区を実現します。

印西地区のごみ処理の現況

1人が1日に家庭から排出する資源とごみが、どのように処理されたのか見てみると…

※数値は平成19年度現在

印西地区の
一人一日当たりの
ごみ発生量
1,004g



28%
資源
213g

集団回収 71g
ビン、カン、紙類、布類

資源物 142g
ビン、カン、ペットボトル、プラスチック製容器包装、紙、布

72%
ごみ
540g

粗大ごみ 27g
大型家具類、自転車など

不燃ごみ 22g
陶磁器類、ガラス類など

可燃ごみ 491g
台所ごみ、皮革類など

民間資源化業者
ここで処理する量：**213g**

リサイクル

ビン → ビン、建築資材など
カン → カン、鉄製品、自動車部品など
ペットボトル → ペットボトル、衣料品など
紙類 → 紙箱、段ボールなど
布類 → ウェス(雑巾)、毛布など
プラスチック製容器包装 → 板材、建築資材など

印西クリーンセンター
ここで処理する量：**791g**

資源物 ごみ中の資源物を回収します。
鉄くず・磁性物 → 鉄原料
アルミ → アルミ原料
ビン・カレット → ガラス原料

不燃残渣
不燃ごみ・不燃性の粗大ごみは、運んだり埋めたりしやすいように細かく砕きます。

破碎可燃物
可燃性の粗大ごみは、燃やせるよう細かく砕きます。

焼却処理
未燃物が残らないように高温で焼却します。

焼却灰
薬剤処理により安定化します。

余熱利用
焼却時に発生する余熱を利用し、発電や地域への熱供給を行っています。

再資源化
印西地区から排出されたものの**23%**が再資源化!

最終処分
印西地区一般廃棄物処分場

最後に残った灰・残渣は埋立処分
(クリーンセンターで処理されたものの約15%)

余熱利用
印西クリーンセンターで発生した熱の**95%**を利用!

発電
温水プール(温水センター)
オフィスビル冷暖房(千葉ニュータウンセンター)

参考
ごみ処理費用にかかっている費用
◇ ごみ1kg当たりの処理に…約35円/kg
◇ 1人が1年間に排出するごみの処理に…約12,400円/年

可燃ごみは、細かく砕いて燃やします。
不燃ごみ・粗大ごみは、混ぜられている資源を回収してから、細かく砕いて埋め立てます。

ごみの減量やリサイクルは、 どういう順序で取り組めばいいの？

全員参加型の資源循環地区

詰め替え商品の利用！



STEP 1

発生防止【Refuse/Rental】

- ごみになるものを断ろう！
- 買わずにすむものは借りよう！



マイバッグ運動の推進！

STEP 2

排出抑制【Reduce】

- ごみになるものをできるだけ減らそう！

STEP 3

再利用【Reuse】

- 使い終わったものを繰り返して使おう！



STEP 4

修繕利用【Repair】

- 壊れたものは捨てずに修理して使おう！

STEP 5

再生利用【Recycle】

- 再使用できないものもきちんと分けて排出し、資源としてリサイクルしよう！



分別！



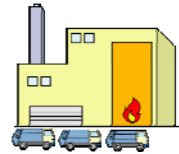
分別

STEP 6

エネルギー利用【Reconvert to energy】

- 資源として使えないもののうち、燃やせるものは燃やして、その熱を利用します

焼却・処理



STEP 7

適正処理・処分 【Right disposition / disposal】

- 捨てるしかないものも可能な限り資源化し、どうしても捨てるしかないもののみ、環境に影響を与えないように正しく処分します

埋立処分量の削減



天然資源の投入を抑制

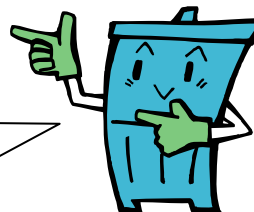
資源



処理残渣の再資源化



「3R」とは、「ごみを出さない」「一度使って不要になった製品や部品を再び使う」「出たごみはリサイクルする」という、ごみ処理やリサイクルの優先順位のことだよ！



どのくらいの“ごみ”を減らせばいいの？

今回策定の基本計画では、具体的な取り組み目標として、印西地区の一人一日当たりの資源物を除く家庭ごみからのごみ排出量の目標を定めました！

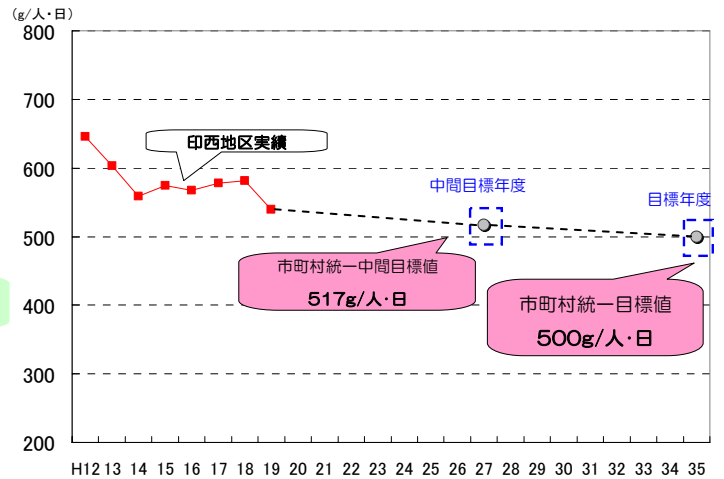
減量目標

平成 27 年度の目標

平成 27 年度の
資源物を除く一人一日当たりの排出量を
平成 12 年度から

20%削減 (517g/人・日)

H12 市町村実績 646g × 80% = 517g
…現状のまま推移した時の値に対して約-10g



平成 35 年度の目標

現状のまま推移した時の値に対する減量分を
平成 35 年度まで維持

500g/人・日

…現状のまま推移した時の値に対して約-10g

平成35年度に目標を達成するには、普段ごみとして出しているものから、一人一日当たりだいたい**40g**のごみを分別し資源物として出したり、減らしたりする必要があります。

$$[540\text{g}(\text{資源物を除く一人一日当たりの排出量:H19}) - 500\text{g}(\text{目標}) = 40\text{g}$$



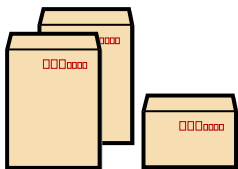
スナック菓子の袋なら 5 枚
(1枚で 8g)



牛乳パック(1000ml)なら 1.3 本
(1本で 30g)



レジ袋なら 8 枚
(1枚で 5g)



A4 版用封筒なら 2.5 枚
(1枚で 16g)



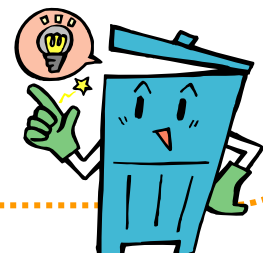
トレイなら 8 枚
(1枚で 5g)

40gってどのくらい？

ごみの中に混ぜている資源物をもっと
分別してリサイクルに回そう！
食事の作りすぎに気をつけたり、買い物の時に
レジ袋をもらわないようにしたりして、
出すごみの量を減らすことも必要だよ！



ご飯の食べ残し
お茶碗なら 2/7 程度
(1杯で 140g)



できることから始めよう！

計画を進めていくためには、住民・事業者・行政が計画の理念や目標を共有し、それぞれの役割を認識することが大切です。

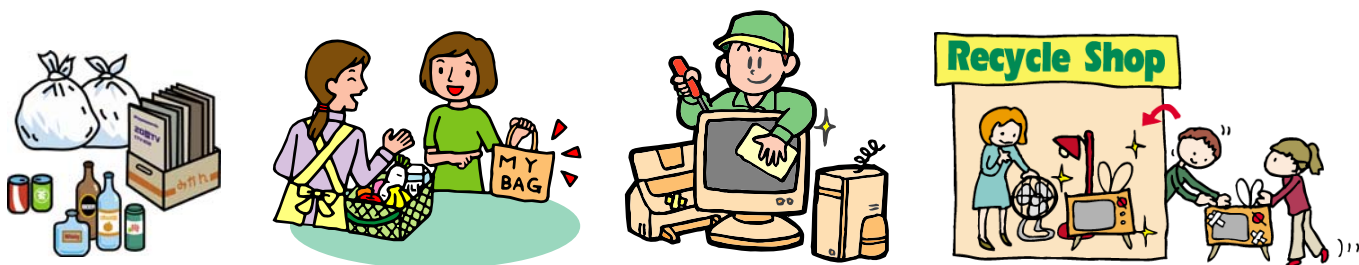
ごみをつくらないライフスタイルの確立に向けた、住民の役割は以下のとおりです。



排出者であることの認識

- ・ 一人一人がごみの排出者としての自覚・責任を持ち、ごみ減量のために積極的・主体的に行動します。
- ・ ごみを出さないライフスタイルの確立を心がけます。
- ・ 市町村のごみ出しルールに従う、集団回収や美化運動に積極的に参加するなど、適正処理への協力を行います。

一人一人が排出者であることを認識し、自らのライフスタイルを見直すことにより、ごみの減量化・資源化に努めるとともに、市町村の減量化・資源化施策に積極的に協力・参加しましょう。



県全体でレジ袋削減に取り組みます！！

千葉県全体でレジ袋を削減する取り組みを「ちばレジ袋削減エコスタイル」、略して、「ちばレジエコ」と呼びます。一人一人の意識次第で「誰でも、すぐに、簡単に」取り組めるレジ袋の削減を通し、ごみを減らし、ものを大切にするライフスタイルへの変換を目指しています。

レジ袋を減らすと、「ごみの減量化・ごみ処理コスト削減」のほかに、

- 使い捨てライフスタイルの見直し
- 地球温暖化の抑制
- 石油資源の消費抑制

などの効果もあります。

みなさんも、すぐに、簡単にできる、レジ袋の削減にご協力ください！

お店に行くときは、
マイバッグを持って行ってね！

名前
モラワン



印西クリーンセンターから



現在、印西地区のごみを処理している印西クリーンセンターは、稼動をはじめてから 23 年を経過しました。

今回策定した基本計画では、施設の耐用を考慮して、平成 30 年度に新たな焼却施設（熱回収施設）を、平成 33 年度には新たな粗大・不燃ごみの処理施設（リサイクルセンター）を稼動させることを目標といたしました。

今後も、既存施設を安全に操業していくことはもとより、印西地区の住民の皆様の衛生的生活環境の保全と公衆衛生の向上を目指し安定処理を継続してまいりますので、皆様もごみの出し方のルールを守り、ごみの減量により一層のご協力をお願いいたします。



印西市



白井市



本埜村



印旛村



栄町

全員参加型の資源循環地区を目指して

～印西地区ごみ処理基本計画策定のお知らせ～

発行日：平成 21 年 3 月

編集・発行：印西地区環境整備事業組合

印西クリーンセンター

〒270-1352

千葉県印西市大塚 1-1-1

TEL:0476-46-2732 FAX:0476-47-1765

ホームページ：<http://www.inkan-jk.or.jp/>